

# 復興研究会報告

NO.8(平成28年度 第1号)

発行

岩手県立大槌高等学校

復興研究会・OA部

発行日

平成28年5月31日

## 第10回定点観測

5月21日(土)と22日(日)に第10回定点観測が行われました。この活動は神戸大学近藤研究室の方々と、町方復興CMrの方々のご協力のもと行っている活動です。年に3回行い、1回につき180か所の地点を震災前と同じ場所・角度から撮影し、視覚的に復興の様子を町内外の方々に伝えていけるように活動しています。今回は2部構成で行い、普段の活動のほかに2日目の午後にはOA部や有志の人たちで、今後の定点観測をどうしていくかについて話し合いました。その参加者の感想を一部紹介します。

実際見ていくと前はあったものは消えていたり変わっていて驚きました。これからも工事が進んでいったらどうなるんだろうと

思いました。  
(1年男子)



私は初めて定点観測に参加しました。震災前とはもちろんですが、何ヶ月か前と今を比較してもだいぶ変わっていたのにびっくりしました。普段は入ることのできないような場所にも入ることができました。これからの大槌がどのように変わっていくのかとても楽しみです。  
(1年女子)

震災前とは全然違い悲しくなりましたが、初めての定点観測で前の写真と比較するのが楽しかったです。これからも、ボランティアに積極的に参加して大槌の事をたくさん知りたいと思いました。  
(1年女子)

安渡は私の生まれた地区だったので写真を見ながら、懐かしいと思いながら歩いていました。

やはり、私は自分の地区のことが好きなんだなあと改めて思いました。  
(2年女子)



定点観測には初めて参加しました。末広町は道路が整備されていたり、電柱がたくさん立っていたり、去年の写真と見比べると復興が進んでいるということがよく分かりました。  
(2年男子)



定点観測には初めて参加しました。末広町は道路が整備されていたり、電柱がたくさん立っていたり、去年の写真と見比べると復興が進んでいるということがよく分かりました。  
(2年男子)

安渡は私の生まれた地区だったので、写真を見ながら、懐かしいと思いついて歩いていました。私はやはり自分の地区のことが好きなんだと改めて思いました。  
(2年女子)

町内がとても変化したなと感じました。懐かしいこの観測をし、とても昔のことを思い出しました。以前は、全て神戸大学生にしてもらっていたので今度は私達はその活動を行っていき、より定点観測を深いものにしていきたいです。  
(2年男子)

定点観測も10回を迎えました。ここまで続けてきたのは神戸大生や復興CMRの皆さんの協力あってなので、これから町が復興するまで続けてほしいです。末広町の公営住宅が完成できていたし、道路となる道もだいぶ整備が進んでいたの復興に近づいているのだと強く感じました。高校生活の中で参加できるのもあと2回しかないの、どちらも参加して少しでも復興の進んだ大槌町を写真に残すことが出来たらいいなと思います。  
(3年男子)



今回で2度目の参加でした。前は1年生の時と比べると町の道路状態や、工事の進み具合が全く違い、復興が進んでいっている様子を知ることができました。半年たってもあまり変化していない所もありました。でも所々、盛土が増えていたり、山が削られていたり、道路が整備されていました。次回参加する時までどのくらい復興が進んで、町の様子が変化しているか楽しみだし、少しでもはやく復興が進むことを願っています。  
(3年女子)

今回は工事の休憩を使っただけの撮影でしたので、どうやって短時間で時間内に終わらせるかというところが難しかったです。次の9月の定点観測は就職試験と重なってしまいそうなので残念ですが、12月の定点観測に参加し大槌町の復興の様子を視覚的にうつしていきたいです。  
(3年女子)

